

警備対策一般（参考）

在タイ日本大使館
警備班

1. 警備対策の重要性

何が起こっても不思議ではない、起こり生るというマインドを持つことが、まず第一。

不測の事態を想定し、出来る限りの範囲で、出来る限りの事を考えて対策を取っていくことが重要。

2. 警備対策を考えるにあたり考慮すべきポイント

(1) 物的・人的の2つに分けて考える。

物的な警備対策・・・出入管理、監視カメラ、各種センサー等

人的な警備対策・・・職員等の配置、警備員の配置（警備会社への委託）

(2) 2つの警備対策の組み合わせがより効果的。

物的・人的それぞれの長所・短所を相互に補完しあう。

3. 警備対策の策定・実施について

(1) 独自の警備対策の策定・実施

独自の情報収集力が必要。多大な時間と労力を要する。

(2) 警備会社に相談し、警備対策の策定・実施

センサーの数や人員の配置数に応じて、3段階程の見積もりを受領し、最後は独自の判断。

4. 警備対策で一番重要なのは「警備への意識」

(1) 物的警備・・・定期点検の実施、故障したら修理は速やかに行う。

(2) 人的警備・・・コミュニケーション、警備訓練。

社員等への意識づけとしては、「避難訓練」や、「緊急電話訓練」も活用してみる。

5. 最後に

現状の警備への意識チェックとして、「〇〇の管理」からやってみてはいかがでしょうか。

以上